

星稜 サ・エ・ラ

seiryô çà et là 2010 No. 19

inaokigakuen news letter



特集

特別座談会

地域・社会の課題に取り組む 「星稜の研究」

星稜教職員バトンメッセージ

星稜アレコレ

学園各校の学園祭・文化祭報告

Amitié Seiryô ～星稜の友～

『親業』支援コラム「オトナのミカタ」

星稜 Information

金沢星稜大学 学園祭
流星祭 開催!

特 別 座 談 会

地域・社会の課題に取り組む 「星稜の研究」

学校法人稲置学園各校では、
多くの教員が地域や社会のさまざまな課題を解決する多彩な研究に取り組んでいます。
今回は、それぞれが地域と社会にもたらす意義について話し合った
教員の座談会の様子をお伝えします。

司会進行

岡部昌樹
金沢星稜大学教授（総合研究所長）

参加者

【金沢星稜大学】
北川節子 准教授
島田一志 准教授
堂下 恵 准教授

【星稜女子短期大学】
沢野伸浩 准教授
【星稜高等学校】
坂野健夫 教諭



島田一志（しまだかずし）

金沢星稜大学人間科学部准教授。「中学生野球選手における硬式球および軟式球を用いたスローイング動作間の相違に関するバイオメカニクス的研究」が（財）ミズノスポーツ振興財団助成金に選定。



北川節子（きたがわせつこ）

金沢星稜大学人間科学部准教授。金沢市少子化対策推進行動計画に基づき策定された「かなざわ子育て夢プラン2010」にて「フレッシュ学生まちなかサロン」を企画・運営。



岡部昌樹（おかべまさき）

金沢星稜大学人間科学部教授、総合研究所所長。「NHKデジタル教材を据えたメディア教育推進パッケージの開発・評価研究」が平成21年～23年度科学研究費補助金に採択。

稲置学園各校で
取り組まれている
多彩な研究活動

岡部昌樹教授（以下岡部）…稲置学園では、総合研究所を中心としてさまざまな分野での研究活動が行われています。本日も集まりいただいた先生方も、それぞれの研究活動に日々取り組んでいらっしゃると思います。まずはそれぞれの研究テーマと主な内容、そしてその研究の目指すところをおうかがいします。

坂野健夫先生（以下坂野）…私の研究テーマは「高校教育現場に適応した融解塩電気分解リアルタイム演示装置の開発」で、この研究が平成22年度の科学研究費補助金（科研費）※に採択されています。内容を簡潔に言うと、高校の化学で教える「融解塩の電気分解」は教科書には載っているんですが、高校の教育現場では実験して見ることが困難なんです。それを生徒たちの目の前でリアルタイムに見せることができる実験装置の開発です。私は星稜高校で化学を担当していますが、いま全国の化学を教える高校教員は、実験の時間を確保することに苦心しています。同時に質の高い実験を生徒に見せたいと常に思っています。この研究の成果によって、全国の高校生が化学の楽しさを知るきっかけを作ることができたらと思っています。

※科学研究費補助金（科研費）…国内の大学などの研究機関に所属する研究者が個人またはグループで行う研究に対する補助金。毎年多くの応募の中から独創的・先駆的な研究が採択される。

沢野伸浩准教授（以下沢野）…私の専門は地理情報で、今も複数の研究に取り組んで

いるのですが、地域・社会貢献に関するところとしては、地理情報システムを活用して災害時の課題を解決するというテーマに取り組んでいます。災害時の支援活動は効率性・合理性という面で大きな課題を抱えていて、たとえば新潟中越地震発生時に実際に起こったことなのですが、現地の情報として「乾電池が足りない」と発信された翌日、4トントラック一杯の電池が届いたんです。そして災害地支援に集まったボランティアの皆さんが、その電池を整理する作業に追われることになってしまいました。特に災害時、情報は出し方によって大変な問題を引き起こします。地理情報とシステムを活用することで情報と人的資源を効率的にコントロールできるはずだ、というのが私の研究動機であり、テーマです。

堂下 恵准教授(以下堂下)…私はゼミ生と大学コンソーシアム石川の「地域課題研究ゼミナール支援事業」に採択された二つの研究を実施しています。ひとつは堂下ゼミ独自で行っている七尾市の民俗行事活性化の取り組みです。七尾市には「熊甲二十日祭りの杵旗行事」や「虫送り」など、全国で失われつつある文化的に価値の高い民俗行事が残っています。しかし、少子高齢化による人手不足のため、今後の保存・継承が重要な課題となっています。その課題をゼミの学生たちが地域の方々と一緒に考えていくという取り組みです。もうひとつは金沢大学との共同研究で、白山市の地域活性化について研究を進めています。こちらは、北陸新幹線開通を視野に入れた白山ろく地域の活性化にかかる調査研究プロジェクトです。堂下ゼミでは若年層の移住促進という課題研究を分担しており、アンケートや实地調査を行っています。

※地域課題研究ゼミナール支援事業、地域から提案された課題等について、解決方策の提言や問題解決のために地域と共同で実践的な取り組みを行うゼミナールを大学コンソーシアム石川が選定し助成する事業。

島田 一志准教授(以下島田)…私は「中学生野球選手における硬式球および軟式球を用いたスローイング動作間の相違に関するバイオメカニクス的研究」というテーマで研究を行っており、この研究は財団法人ミズノスポーツ振興財団の助成を受けています。日本の野球文化には独自の「軟式野球」がありますが、従来から軟式球と硬式球を同じ時期に使うと身体の故障につながると言われてきました。ただ一方で、近年は重さの違うボールを併用した場合のトレーニング効果も認められています。軟式球と硬式球を扱う際にどういう違いが現れるのかについてこれまできちんとした研究がなされていなかったため、これを解明することで日本全国の野球指導者や選手に、ケガの危険性が少なく、上達しやすい練習環境をもたすことができると考えています。

北川 節子准教授(以下北川)…私が学生たちと取り組んでいるのは、主に金沢市の事業です。具体的には、金沢市少子化対策推進行動計画に基づいて策定された「かなざわ子育て夢プラン2010」のナンバー68事業「フレッシュユ学生まちなかサロン」を、人間科学部こども学科の学生が「こどもワールド演習」の中で企画・運営をしています。合計で6回の開催を通じての成果を金沢市に報告することとなります。大学を含む地域社会の中で子育て支援の活性化を図るという取り組み自体の目的と、子育てを支援する人材の育成、次代の親となる学生に子育てに対する関心を強く持つ



坂野 健夫 (さかの たけお)

星稜高等学校教諭。「高校教育現場に適応した融解塩電気分解リアルタイム演示装置の開発」が平成22年度科学研究費補助金に採択。



沢野 伸浩 (さわの のぶひろ)

星稜女子短期大学准教授。「首都圏震災時における帰宅困難者・ボランティアと地域住民・自治体との協働による減災研究」が平成20年国土交通省・建設技術研究開発費補助金に採択。(分担研究者)



堂下 恵 (どうも とめぐみ)

金沢星稜大学経済学部准教授。大学コンソーシアム石川の地域課題研究ゼミナール支援事業に、七尾市での「民俗行事の特徴に合わせた保存・継承方法の検討」、白山市での金沢大学との共同研究「超高齢社会に対応した白山麓地域の魅力創生戦略と若者定住計画」が選定。

でもらうという教育の目的、ふたつの目的を持って取り組んでいます。

岡部…皆さん社会への意義を見据えて研究をしていらっしゃるんですね。私の研究テーマは「メディアリテラシーの育成」です。現代は映像の存在がますます大きくなっていますが、それをどう読み解くかの教育も重要度が高まっています。そのための教育、メディアリテラシー教育は欧米でも大人になってから、ハイスクール以上の教育となっているのが通常で、小学校児童を対象にした育成カリキュラムは世界のどこにもありません。それを日本で実現するためにはどうするかを考える過程で、私が注目したのはNHKです。NHKは日本の放送文化の起点であり、大量の映像コンテンツを保有しています。そして今、デジタル化の流れからそのコンテンツのアーカイブ化が進んでいて、誰もがそれを活用できる環境が整いつつあります。この状況を活かして、児童に向けたメディアリテラシー教育を実現できるのではないかと。これをテーマに、児童用のテキストを作ってパッケージ化して、小学校教育現場で実践的研究を行っています。ちなみに、この研究も科研費に採択され、助成を受けている研究です。

研究者として、 教育者として 感じている課題

岡部…皆さん研究を進める上でいろいろな問題を感じることもあろうかと思っています。実際にはどんな点に困難を感じますか？

坂野…私は高校の教員ですので、授業があつて部活動があつて、学校行事もあります。それらを大事にするのは当然ですが、一方で国から研究費をいただいている以上、研究の結果も出さなくてはなりません。日々の業務の中で、研究に向けるまとまった時間をどう確保するかは当面の大きな課題です。

岡部…確かに学校の先生はお忙しいですが、私の研究では小学校の先生方にご協力をいただいているのですが、現場の先生方からはよく「やってみたいけど時間がない」という声が聞かれます。その上で、私の研究は通常のカリキュラムにメディアリテラシー教育を取り入れるパッケージ化の実現を目指していますので、そういう現場の先生方のお声はこちらが解決するべき課題を教えてくださいという一面もありますね。



岡部昌樹教授はメディアリテラシー教育の実現を目指す

堂下…私の場合も大学コンソーシアム石川から研究費助成を受けているため、前提として結果を出すことが求められています。

また同時に、学生たちと一緒に取り組むという前提もあります。研究者として質の高い成果を出すということと、教育者として学生たちを指導するということを両立させることは簡単ではありません。どちらにも最大限の効果を得るためにはどうするか、いつも悩むところです。

北川…私も堂下先生と同じで、学生が主体で私は補佐役。学生の動きをいつもハラハラドキドキしながら見ています。私がすべて指示をすればスムーズに進むかもしれませんが、それでは教育としての意味がありません。学生たち自らが動くように導いていくのが、研究とは別に難しい部分ではありますね。



北川節子准教授「フレッシュまちなか学生サロン」の一場面

沢野…私は研究者というより技術者に近いので、本当は技術だけを突き詰めていくのがいちばん幸せなんですけど、そうはいきませんからね。外部から数千万という研究費をもらうとなるとその責任も極めて重くなりますし、教育者としての責任も当然あります。それをどう果たしていくのか、



あるいはそれができる体制を作っていくのかは研究機関共通の課題ではないでしょうか。

島田…私は、金沢星稜大学の学生にもっと期待したいと思っていますね。私の研究は学生を交えずに一研究者として単独で行っていますが、学生にとつてはもったいないなと思っています。いろいろな先生方がさまざまな研究を行っている環境で学んでいるんですから、積極的に関わること自分が高める機会が多いはずなんです。残念ながら、研究に取り組んできちんとした結果を出すところまでの力や姿勢を持っている学生はまだ少ないと思います。これも課題でしょう。

岡部…そのような学生を育てる役割を、まず大学院・経営戦略研究科が担っていくはずで。これからどんどん研究意欲を持った学生を育てていきたいところです。

研究成果を社会に還元していくことが私たちの使命です

岡部…それでは次に皆さんの研究の今後の展望についてうかがおうと思います。まず私からお話すると、メディアリテラシーと聞くと何かまったく新しい異質なものだと思われるかもしれませんが、実はそうではないんです。日本には以前から放送教育という概念があり、教育現場で放送が活用されてきました。扱ってきた先生方が気づいていないだけだったんです。私たちが新しい視点でパッケージ化した教材を提供するだけで、世界に誇るメディア教育が

実現できます。それをぜひ学校教育現場の先生方に気づいていただいて、自信を持ってほしいと思っています。そして現代に即したメディアリテラシー教育を通して、日本の子どもたちに論理的な思考力を身につけてもらいたいと思っています。

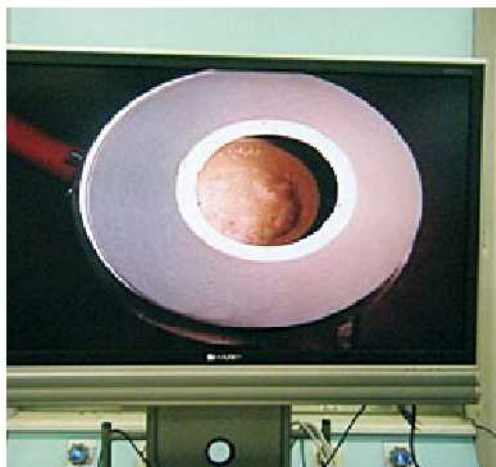
島田…研究結果を教育の現場で活かしてほしいというのは私も同じです。私は今後得られた知見をスポーツ関連のセミナーや商業雑誌などで発表していくことになりそうです。そこから日本全国の野球指導者や選手へ私の研究成果を還元していきたいですね。私が直接知っている例でも中学時代にケガをしてしまいその影響に苦しんだプレイヤーがいます。そういう人間をひとりでも減らしたい。今はその一心です。

堂下…私は地域活性化という共通のテーマで、七尾市と白山市で研究を行っています。七尾市の事例では伝統行事の保存・継承という大きな課題がありますが、地域住民の方々は学生が現地を訪れ、交流することによって活性化したいと望まれています。調査研究ではない関わり方によって貢献する方がよい結果を生む可能性があると感じています。一方、白山市が抱える問題はどうかという、非常に難しいものです。引き続き調査研究できる道を模索するべきだと思っています。

北川…金沢市の少子化対策推進行動計画は5カ年計画ですので、「フレッシュ学生まちなかサロン」の取り組みも継続していくことになるでしょう。事業としての目的も

もちろんありますが、私は人間科学部こども学科としての教育目的、社会に眼を開いた教員の養成というより大きな目的を大切にしていきたいと考えています。少子化という社会全体の問題を自ら考えて、地域に貢献したいと考えられる教員を育てたい。それが目標です。

坂野…私自身は大学時代に、物を高温で溶かしてそこに含まれる物質を単体で取り出すという研究をしてきました。私が学んできたことを、今は高校の教員としてどれだけ生徒と保護者に還元していくかというのが私のテーマとなっています。現在の研究が終わってもまた次のアイデアを出して研究テーマを見つけ、学校教育に還元するという繰り返しを続けていきたいと思っています。



高温実験の様子をリアルタイムで生徒に演示する坂野健夫先生の研究

沢野…ちょっと違う視点からお話しますが、私はある研究はまた別の分野の研究へと広がっていくと考えています。たとえば私が進めている地理情報システムの研究で培った技術が、もしかしたら岡部先生の

研究に使われる電子教科書に活かせるかもしれない。今日のようにまったく違う分野の研究をしている人が集まって意見交換をすることで、新しい分野へと派生していくこともあります。それがこうして多様な研究を包括する研究機関の、ひとつの存在意義ではないかと思っています。



沢野伸浩准教授は地理情報システムから災害支援の効率化を目指す

岡部…確かにその通りですね。今回のテーマは地域貢献、社会貢献でしたが、どんな研究にもかならず意義があり、得られた知見や新しい価値を社会に還元していく使命があります。これからは研究者として、また教育者としてお互いに協力しながら前進していきたいと思っています。

金沢星稜大学総合研究所は、本学園の建学の精神である「誠実にして社会に役立つ人材の育成」に基づき、実証的・理論的研究によって、学術及び地域の文化・産業・経済の発展に寄与することを目的としています。活動テーマに、「地域の発展に資する知の創造」をきっかけ、教育活動においても学園の知の拠点となるよう支援していきます。



金沢星稜大学 経済学部経営学科
金沢星稜大学大学院 経営戦略研究科
岸本秀一 講師

教育者であり、研究者でもあること。
それが私の「自分との約束」です。

金沢星稜大学の教壇に立ち、マーケティング論や経営学を教えるようになってから1年目、教職に就いてからも2年という、私はいわば「ルーキー」です。それ以前にはメーカーで20年あまり商品開発を担当しており、働きながらMBAと博士号を取得しました。ちよつと変わった経歴の教員かもしれませんね。

講義では、マーケティングの「理論」と「実践」とのバランスを常に考えています。もちろん企業活動の最前線にいた自分の経験を教育に活かしたいとは考えていますが、やはり学生たちには基本となる理論をしっかり理解してもらわなければなりません。現場での経験が豊かな人間ほど、ともすれば自らの成功体験ばかりを語ったり、理論を否定したりしてしまいがちですが、私は教育者として、そうはならないように注意しています。

あと5年10年が経ったら、ビジネスの現場での自分の経験はもう学生たちに話さないようにしたいと思っています。過去の古い話をしたくはないんです。マーケティングには時とともに変化する部分と普遍的な部分があり、変化する部分に

企業にいた頃の自分なら、 この学生を「欲しい」と思えるか。 その目線から指導しています。



学生たちがいづれ社会のそれぞれの場所で評価される。それが今の楽しみのひとつです。

ついでには私自身がこれからも常にその時代の新しい情報にアップデートをしていかなければいけません。教育者でありながら、研究者でもあり続けること。それは私が教職に就いた時に交わした、自分との約束です。時代遅れの自慢話ばかりを聞かされたのでは、きっと学生もつまらないでしょうしね笑。

企業に「ぜひ育てたい」と思われる
人材を社会に送り出していきたい。

企業に勤めていた頃には、就職活動中の学生の面接や新入社員の教育も担当していました。近年は新入社員の質が変わってきて「頼りないな」と感じるものが多かったのですが、大学教育の現場に来て多くの若者と向きあうようになり、その問題をもう一方の面から捉えることができたように思います。かつて

当たり前とされてきた社会人としての基本が身につけていない若い人が増えているなど実感しています。それはもちろん本学だけではなく、現代を取り巻く社会の問題でもあると考えています。

大学は、社会に人を送り出す最後の砦です。ここで学びとらなければ、学生本人が社会に出てから大変な思いをする。それを知っているからこそ、今は大きな責任も感じています。だから私は学生たちに「これだけは絶対に身につけておくべきだ」ということを、何度も繰り返し話しています。

具体的には、期限や時間などの「約束を守る」こと。そして、予期せぬトラブルがあっても自分で考え行動して目的を達成できる「アドリブ力」、たとえ嫌いな人ともうまくつきあうことができる「コミュニケーション力」を身につけることなどです。これらはどんな企業、どんな職種に就いたとしても、必要不可欠の素養です。

数年前は新入社員を受け入れる企業の側の人間でしたが、今は社会に送り出す側になりました。私がここで目指しているのは、企業にいた時の自分ならば、ぜひこの若者を育てたいと思える「プロフェッショナルのタマゴ」を、社会へ送り出していくことです。



「顧客ニーズに「応える」とは何か
(図書出版文理閣)
岸本秀一講師のこれまでの研究をまとめた
著作が2010年11月に出版されました。



★ 池田ゼミ 交通安全運動に参加！

9月24日(金)、秋の交通安全運動に伴い、人間科学部池田幸應教授のゼミ生たちが金沢東警察署前の交差点で、ドライバーや自転車利用者に交通安全を呼びかけました。



★ 「CDPで超えました」 後期CM放映開始！

秋から冬にかけて石川県と富山県で放映している金沢星稜大学のCM撮影が10月13日(水)に学内で終わりました。今回出演してくれたのは、CDPを受講し「公務員」「税理士」「小学校教員」の試験に合格した学生たちです。出演学生た

ちの「自分を超えた理由」は大学ウェブサイトにて公開中です。ぜひご覧ください。
<http://www.seiryu-u.ac.jp>



★ デジタル出版ができる 「超高速コンピュータ 情報演習室」がオープン!!

平成22年4月の「Windows Professional」の二斉導入に続き、後期から302演習室とデジタルラボが一新され、デジタル出版設備を備えた「超高速コンピュータ演習室」がオープンしました。これらのコンピュータでは、Photoshop、Illustrator、Dreamweaverなどのプロが利用するマルチメディアソフトを使うことができます。

★ 海外社会実習・観光実習 成果報告会！



10月22日(金)、2002講義室において海外社会実習・観光実習の成果報告会が行われました。本年度はロシア、中

国、オーストラリアの各国への実習に計18名の学生が参加しました。学生たちは、2週間の短期実習で文化の違いやお互いの国の歴史を知る努力をする必要性を感じたり、学生間交流やホームステイを通じて数多くのことを学びました。これらの体験をこれからの学生生活に活かしていきたいと報告しました。

★ 人間科学会学術講演会 「いしかわジュニア競技力 向上セミナー」開催！



11月3日(水・祝)、金沢星稜大学人間科学会学術講演会が開催されました。県内から加えて富山・福井からの参加者も集い、ジュニアスポーツの指導者26名、高校生32名、指導者をめざす大学生47名、総勢105名が参加しました。

二部構成で開かれた講演会の第一部では、スポーツパフォーマンスにおける「体幹」の働きについて実証的なデータや「走・投・打」の観点から最新の研究動向を本学教員が紹介しました。第二部ではそれらを効果的に発揮するためのトレーニング法について元プロテニスプレーヤーの九鬼まどか氏が解説しました。「トレーニング」「テニスの実践における体幹の使い方」と題し、ワークショップ形式で実技指導が行われました。

参加者からは、今後も種目を問わずこのようなセミナーの開催を継続してほしいとの声が多数寄せられました。

★ 学生たちが運営する 「星稜大運動会」開催！



11月6日(土)、陸上競技部の学生たちが中心となって企画運営した「星稜大運動会」が、稲置学園総合運動場で開催されました。これは、地域の小学校3年生から6年生を対象にしたもので、陸上競技の活性化と記録測定場の提供を目的に行われました。当日は約130名の参加があり、100m走、走幅跳などの種目ごとに、自己記録の更新のためにベストを尽くしました。運営や児童の指導にあたった学生たちは、こどもたちを対象にしたイベントの運営の大変さや、企画運営の難しさを実感しながらも、次回にむけてさらによいものにするために努力したいと前向きな姿勢でした。

★ ロシア人留学生が 小学生と交流！

11月15日(月)、金沢星稜大学のロシア人留学生6人がロシアの小学校と親交のある金沢市立西小学校を訪

れ、5年生の児童71人と「ロシア留学生との食文化交流会」が実施されました。ロシアの家庭料理と一緒に調理し、さらにロシアの有名な遊びで交流しました。途中、留学生がロシア語を児童たちに教える場面も見られました。最後に児童から「ありがとうございました、また来てください」と声を掛けられ、留学生にとっても有意義な時間になりました。



★ 「星稜TODAY」 1000号発行達成！

平成16年4月15日に創刊され、講義のある日にあわせて職員が作成し、学生たちに手渡ししている情報紙「星稜TODAY」が、11月11日(木)配布分で1000号を迎えました。これからの大学生生活に役立つ紙面づくりを目指していきます。



短大 UNION大会の開催



金沢星稜大学サッカー部など県内大学サッカー部が中心となつて行う全国レベルの大学サッカー大会の運営スタッフとして、星稜女子短期大学のセミナーコミュニティ(担当:榎本雅之助教)受講生と榎本セミナーの学生たちが参加しました。8月16日(月)から19日(木)の4日間、会場準備や会場受付、水や氷の提供、弁当の手配、写真撮影や司会進行など大会運営のサポートを行いました。他大学の学生とも協力しながら、積極的に大会に参加しました。

※UNION Dream Challenge Cup 2010

「石川を大学サッカーのメカに」の合言葉でスタートし、今年で3回目を迎える全国トップレベルの大学サッカー大会。県内の学生が中心となつて運営し、大会の半年前から週1回の定例会を開き、運営資金の調達から監督会議の準備、当日の会場運営などのすべてを学生の手で行う。毎年、金沢星稜大学サッカー部や星稜女子短大の学生が運営スタッフとして参加している。多くの失敗も経験するが、それ以上に大きなイベントを成し遂げるこの大変さと達成感を学ばせられる大会である。

短大 食の中心金沢近江町に『能登の特産品 学生シヨップ』開店

近江町いちば館(金沢市近江町市場)に『能登の特産品・学生シヨップ』を8月28日(土)から9月6日(月)の期間限定でオープンし、安藤信雄准教授ゼミナールの学生たちが、金糸瓜クレープやそうめんなど金糸瓜の特性をいかしたオリジナル品料理を調理・販売しました。店内には能登の特産品や、ゼミ生たちが参加を続けている能登島向田の火祭りを紹介するコーナーも設けられました。学生シヨップで収集したデータは、今後に役立ててもらおうと能登の生産者や七尾市役所に提供されました。



11月24日(水)には、本学に飲食店経営者やホテル関係者、七尾市の担当者などを招いて開発メニュー採用試食会を行いました。参加者からは好評を得られ、近いうちに県内の居酒屋やホテルで星短の金糸瓜メニューが登場する予定です。

短大 経営学で東京デイズニールランドを体験



11月25日(木)「経営学Ⅱ」(担当:中島恵講師)のなかで『東京デイズニールランドの創業期とオリエンタルランドのマネジメント』と題して講演が行われました。講師には、株式会社オリエンタルランドのオープニングスタッフとして勤務された経歴をお持ちの山田健彦氏(ブルームバーグ日本法人勤務)をお迎えしました。山田氏は東京デイズニールランド建国の歴史や常に心がけているお客様へのきめ細かいサービスやホスピタリティについて触れ、徹底的に現実の世界を見せないことや自動販売機を置かず人と人との接点を大切にしていることなど、オリエンタルランドの経営方針についてお話いただきました。講演の最後に、山田氏からオリエンタルランドの「目線の使い方」も教わり、東京デイズニールランドのおもてなしを少しだけ体験しました。

短大 「税」の仕事を知ろう

租税教育実習

9月21日(火)、今年で27回目を迎える星稜女子短期大学連携プログラム「租税教育実習」(金沢税務署、北陸税理士会金沢支部共催)を実施し、セミナーコミュニティ(担当:谷島範泰准教授)受講生や公務員志望の学生20名が参加しました。税務署の社会的役割や具体的な仕事内容の説明、署員の方との質疑応答、税理士の方の講話などを通じて、公務員や会計関連の仕事を希望している学生たちは職業研究ができました。



金沢税務署長による「税」に関する講演会
11月17日(水)、金沢税務署長による「税」に関する講演会が開催され、「税務署の仕事」という題目で前田恒二署長に税務署の果たす社会的役割や市民と税務署の関わり等についてご講演いただきました。学生たちはメモをとりながら熱心に聞いていました。
またこのプログラムは国税庁の「税を考える週間(平成22年度テーマ:IT化・国際化と税)」(11月11日~17日)の行事の環として行われました。



短大 スキューバダイビングのインターンシップ

8月末から9月にかけて、スポーツマネジメントコース所属の1年次3名が、能登島の能登島ダイビングリゾートで約2週間インターンシップを行い、スクールの補助やのどま水族館の水槽清掃などを経験しました。参加した学生は、スキューバダイビングの知識や技術だけでなく、スポーツを仕事とすることがどういうことなのかを学びました。



★ 高 運動会

秋晴れに恵まれた9月29日(水)、稲置学園総合運動場を会場に、星稜高等学校運動会が行われました。各競技は、クラス対抗で行われ、それぞれがさわやかな汗を流しました。101ホーム、201ホーム、302ホームが今年度の優勝を果たしました。



★ 高 進路を考える 2年生の大学講義体験・1年生の大学見学

10月18日(月)、2年生を対象に、大学から講師をお招きし模擬講義を実施しました。理系・文系20講座を開講し、各人2講座を選択して受講しました。

将来の進路の参考にしようと、生徒たちは真剣な様子で受講していました。また、同日1年生は、クラス別に北陸3県内の大学を見学しました。



★ 高 「幕末の京都をめぐる旅」 ヒストリカルツアー

9月25日(土)、「幕末の京都をめぐる旅」としてヒストリカルツアーを実施し、京都の坂本龍馬ゆかりの地を訪れました。午前は高瀬川周辺(桂小五郎像・長州藩邸・薩摩藩邸・土佐藩



★ 高 トランポリン部 世界大会出場

白坂健志さん、角田瑞希さん、石井純さん、岡田紳之介さんの4名は、11月フランスのメッスで開催された「世界年齢別トランポリン選手権大会」に出場しました。

★ 高 全国高校サッカー 石川県大会12年連続優勝

11月7日(日)、「第89回全国高等学校サッカー選手権石川県大会」の決勝戦が西部緑地公園陸上競技場で行われ、星稜高等学校サッカー部が遊学館高等学校に3対1で勝利し、12年連続21回目の優勝を果たしました。

なお、全国大会は12月30日(木)から開催されます。初戦は12月31日(金)徳島商業高等学校と対戦します。

邸・近江屋敷・池田屋敷・酢屋などを散策しました。昼食は池田屋で取り、午後は京都霊山護国神社、霊山歴史館を見学しました。

事前学習を行ってからの見学であったため、当時のことをイメージしながら実際に見る事ができました。みなさん満足した様子でした。

★ 中 宿泊研修



9月6日(月)・7日(火)、国立能登青少年交流の家にて、1泊2日の宿泊研修を行いました。いかだ航海体験、カヌー、アーチェリー、オリエンテーリング、サイクリング、ディスクゴルフ、カッターなど、普段できないことを体験して、各人が中学生生活の思い出として楽しんだ2日間でした。

★ 中 修学旅行

10月27日(水)から29日(金)にかけて、2年生が鎌倉・東京方面へ修学旅行へ出かけました。

鎌倉では班別行動をしましたが、どの班も事前に調べた箇所を回り、歴史あふれる市内を堪能しました。国会議事堂見学では、元星稜高等学校教員の馳浩議員をはじめ、その他の議員さんにも貴重なお話を聞くことができました。



★ 中 運動会

9月30日(木)、稲置学園総合運動場を会場に、星稜中学校運動会が行われました。全生徒が学年枠を越えて赤・青・黄色の3グループに分かれ、競技が行われました。学年が混じり合ったグループ分けとあつて、戸惑う生徒もいたようでしたが、上級生がリードしてあげるなどして、大いに張り切り楽しんだ1日でした。



中 化石を発掘!? 体験学習

10月29日(金)、1年生が、白山市白峰化石壁調査センターで化石発掘体験をしました。白山市内の中生代の地層からは、これまで多種多様な化石が産出されています。イチヨウ、ソテツ、シダといった植物化石だけでなく、一枚貝、巻貝、カメの甲羅などの化石を発見して、生徒たちにとっては、興味深い体験になりました。



中高 いしかわ教育ウィーク

石川県では、県民の教育に対する関心と理解を深め、心豊かでたくましい子どもを育成するとともに、生涯にわたって自らを学ぶ人づくりを進め教育の充実と発展を図るため、11月1日(月)から7日(日)を「いしかわ教育ウィーク」としています。本校では11月1日(月)から5日(金)(3日を除く)の期間、生徒の保護者を対象とし、「授業・学校公開」を行いました。

中高 9月からの主な部活動成績

星稜高等学校

- 平成22年度石川県高等学校新人体育大会 水泳競技
 - 男子50m自由形
 - 2位 山本航平
 - 男子50m背泳ぎ
 - 2位 井野山修平
 - 男子100m背泳ぎ
 - 2位 井野山修平
- 平成22年度石川県高等学校新人体育大会 バドミントン競技
 - 男子ダブルス
 - 3位 村田裕輔・可長広輝
 - 男子団体
 - 3位
 - 女子団体
 - 3位
 - 女子個人
 - 優勝 森田結衣
 - 女子団体
 - 優勝
- 平成22年度石川県高等学校新人体育大会 ハンドボール競技
 - 女子の部
 - 3位
- 平成22年度石川県高等学校新人体育大会 テニス競技
 - 男子シングルス
 - 3位 佐々木宏彬
 - 男子ダブルス
 - 3位 宮村 陸
 - 3位 佐々木宏彬・宮村 陸
 - 男子団体
 - 3位
 - 女子シングルス
 - 優勝 井波奈津美

- 3位 上野梨夏
- 3位 中村萌美
- 女子ダブルス
 - 優勝 井波奈津美・上野梨夏
 - 2位 今井由佳・中村萌美
 - 女子団体
 - 優勝

石川県高等学校

- ソフトテニス新人大会金沢地区予選会
 - 男子個人
 - 優勝 高木・宮本組
- 第4回日本ユース陸上競技選手権大会
 - 女子200m
 - 2位 河野伶奈
- 第15回北信越高等学校新人陸上競技大会
 - 男子100m
 - 2位 上松涼太郎
 - 男子100m
 - 3位 大口健太
 - 男子200m
 - 1位 大口健太
 - 男子500m競歩
 - 2位 水井博道
 - 男子4×100mリレー
 - 1位 口出光希・大口健太・上松涼太郎・福永一毅
 - 男子走幅跳
 - 1位 口出光希
 - 3位 福永一毅
 - 女子200m
 - 3位 河野伶奈
 - 女子4×100mリレー
 - 2位 野崎由芽・坂本麗美・河野伶奈・小林麻里子
 - 女子走幅跳
 - 1位 赤坂遥夏
- 第38回西日本トランポリン競技選手権大会
 - 高校生男子個人競技
 - 優勝 白坂健志
 - 2位 石井 純

- 平成22年度石川県高等学校新人体育大会 トランポリン競技
 - Aクラス男子
 - 優勝 石井 純
 - 3位 中村隆誠
 - Aクラス女子
 - 3位 佐竹玲奈

第2回石川県

- 年齢別トランポリン競技選手権大会
 - 15・16歳男子の部
 - 優勝 白坂健志
 - 17歳以上男子の部
 - 2位 石井 純
- 平成22年度石川県高等学校新人体育大会 ソフトボール競技
 - 男子
 - 優勝
- 平成22年度石川県高等学校新人体育大会 空手道競技
 - 男子団体形
 - 3位
 - 男子団体組手
 - 3位
- 金沢市空手道選手権大会
 - 高校生男子組手試合
 - 優勝 本真大朗
 - 準優勝 本 圭佑
 - 高校生男子組形試合
 - 3位 本真大朗
 - 高校生女子組手試合
 - 3位 紺谷奈緒
 - 第89回全国高等学校サッカー選手権大会 石川県大会
 - 優勝
 - 第30回石川県高校囲碁秋季大会
 - A級
 - 3位 小池田翔
 - C級
 - 1位 南波 駿
 - 2位 山副啓太
 - 女子団体戦
 - 1位 荒木あすか・豊岡希咲・杉森由依

- 第18回石川県高等学校かるた選手権大会
 - 1部
 - 準優勝 荒木奈々

星稜中学校

- 金沢市中学校新人陸上競技大会
 - 男子共通100m
 - 1位 村田 光
 - 男子共通200m
 - 1位 村田 光
 - 男子1年1500m
 - 1位 今村優斗
 - 女子共通1500m
 - 1位 五島莉乃
 - 女子共通走幅跳
 - 2位 西川日向子
 - 女子共通走高跳
 - 2位 橋 佑利
 - 女子1年800m
 - 1位 五島莉乃
 - 女子1年走幅跳
 - 1位 橋 佑利
 - 女子1年4×100mリレー
 - 1位 仙石 莉奈・小浦愛里・葛巻 梨紗・橋 佑利
- 第2回石川県年齢別トランポリン競技選手権大会
 - 13・14歳男子の部
 - 3位 藤原壮輝
- 石川県中学校体育大会 第28回県中学校駅伝大会
 - 男子4区 3.0km
 - 3位 吉野 駆流
 - 女子1区 3.0km
 - 1位 五島莉乃



幼稚園
☆はじめてのキッズサッカー☆

秋晴れのもと、園児たちがキッズサッカーに挑戦しました。だるまんがごろんだ「や、しっぽとりゲーム」でウォーミングアップした後はボールと仲良しになる遊びや、ミニゲームにも挑戦！「木原&安田コーチとも仲良しになったよーまた、いっしょに遊ぼうね！」



☆エコ・リサイクルをテーマにした「エコキッズワールド」を開催☆

10月30日(土)、保護者会主催による、園児と保護者、教師が一体となってゲームコーナーや模擬店等を作り一緒に楽しく遊ぶお祭り「エコキッズワールド」が開催されました。



エコ・リサイクルをテーマに、新聞紙や段ボールなどを利用した迷路、牛乳パックで射的ゲームや帽子作り、園長先生によるトイレトベーパーの芯を使つてのロケット作りなど、どのコーナーもアイデアいっぱいでした。ハロウィンにちなんだ演出もあり、子どもたちは次々とゲームや工作を楽しんでいました。

また、保護者の有志による手芸サークルのメンバーが不要となったハギレや古着を利用して手作りのお弁当袋やランチョンマットなどの園グッズの販売は大盛況

況でした。保護者の方から、「エコを遊びながら体験できたことが良かった」との声が聞かれ、秋の幼稚園の一日は、親子の笑顔でいっぱいになりました。

☆年中組「お散歩」☆

星稜高校まで、みんなで散歩に出かけました。初めて入る大きな建物にちよつとドキドキ。玄関口ビーで写真を見たり、お茶を飲んだり、ちよつぱり高校生気分を味わいました。「また行きたいな。」



☆年長組「焼きいもしよう」☆

いもほり体験で掘ってきた五郎島のおいもで、「焼きいも」をしました。土のついたおいもを洗って新聞紙で包み、水につけてギュッと絞り、さらにアルミホイルで包んで焼きいもの準備完了！おともだちと力を合わせて取り組みました。後は炭火の上に置いて焼けるのを待ちます。この日は作業の途中からあいにくの雨。焼けたおいもはお部屋でみんなで小さく分け合つて食べました。「どれにしようかな〜」「おいしそう〜」「ゆげ出とる〜」。ほつり楽しい焼きいも会になりました。



幼稚園
☆星稜泉野幼稚園夏まつり☆

8月28日(土)、園庭で夏まつりを行いました。金沢星稜大学の学生や、保護者の方にも協力いただき、流しそうめん・的あて・くじ引きなど企画も盛りだくさん。子どもたちの笑顔がいっぱいの一日となりました。



☆コスモスがいっぱい!! ☆

秋空の下、年少児がバスに乗っておでかけです。コスモスがいっぱい咲いている中を歩くと、「何だか迷路みたい」。松ぼつくりを拾つておみやげもできました。

芝生広場でのお弁当も美味しくいただき、体いっぱい秋を感じた一日になりました。



☆泉野図書館を体験☆



すぐ近くの泉野図書館に、年中児が歩いていきました。お話招待席では大型絵本やろうそくの火の灯る中での金沢井による民話やブラックスシアター。面白おかしく時には優しい語り口に、お話の世界に引き込まれました。日頃見ることでできない図書館の裏側も探検ツアーをしました。

☆近江町市場でのお買物☆

年長児がみそ汁の中に入れる具をグループで相談して、近江町市場に買物に行きました。お店の人とうまく話をしておまけをもらったグループもありました！重そうに大根を持つ顔も誇らしげ。「かわりばんこに持とうね」ともだちと協力する姿も見られました。翌日みんなの買ってきた材料でみそ汁を作ってくださいました。



学園各校で学園祭・文化祭が開催されました!

金沢星稜大学 流星祭

10月22日(金)から24日(日)の3日間の日程で大学の一大イベントである「流星祭」が開催され、学内外から多くの人が訪れました。ステージでは、カラオケ大会やお笑いライブ、初代の「Ms.&Mr.コンテスト」が開催され、初代「ミス&ミスター星稜」が決定し会場を盛り上げました。さらに、焼き鳥やクレープといった様々な屋台が並び、来場者を出迎えました。また、学内では経済学部の学生で構成する「学星学会」による写真コンテストや、卒業して3年以上のOB、OGによる「先輩と語ろう2010!」が実施されました。普段接する機会のない先輩と気軽に話すことができたこの企画に、在学生から「このようなイベントをまた開催してほしい」との声が上がりました。最終日には、YOSAKOIによる演舞が披露され、流星祭を締めくくりました。



星稜女子短期大学 星短祭

第32回星稜女子短期大学学園祭「星短祭」が、10月23日(土)・24日(日)の二日間にわたって開催されました。今年のテーマ「わっしょい〜(´▽`)」にふさわしい大盛況で楽しい二日間でした。さまざまなイベントのほか、会場にはスイーツ模擬店がずらり。定番のたこ焼きや焼きそば、地物を使った本格松茸ご飯も大好評!好評のJA能登わかばの協賛による朝採れ野菜等の販売には、保護者の皆さんも売り子さんとして参加しました。豪華景品が当たる大抽選会で二日間の学園祭を締めくくりました。ご来場いただいた皆さん、ありがとうございました。



星稜高等学校 星稜祭

9月6日(月)・7日(火)の二日間、星稜祭を行いました。1日目はラモス瑠偉氏の講演会と清水翔太さんのライブに盛り上がり、2日目は食品を中心としたクラステナントや、文化部の発表を楽しみました。



Amitié Seiryō

星稜の友

アミティエセイリョウ
「Amitié Seiryō」は、フランス語で「星稜の友情」。
毎号星稜を支えてくださる各方面の方々をご紹介します。

白山ビルサービス 株式会社
稲置学園管理事務所

森 一秀 主任（設備・警備責任者：左）

腰前 進 主任（清掃責任者：右）

「あたりまえ」の環境をつくる。
それが私たちの仕事です。



白山ビルサービス株式会社は、稲置学園が各校の校舎や敷地内の管理・清掃を委託しているビル管理会社です。金沢星稜大学内に事務所があり、毎日のメンテナンスや清掃から緊急時の対応まで、多方面で学園の環境維持をサポートしています。



おふたりは稲置学園で
どのようなお仕事をされているんですか？
森さん…私は建物や設備の管理と警備の担当責任者です。建物に関しては日々のメンテナンス全般、また消防設備の点検管理などが中心ですね。駐車場などの警備も担当しています。
腰前さん…私は星稜高等学校や金沢星稜大学の清掃責任者です。どちらも大きな建物ですが清掃スタッフの皆さんと一緒に校舎内外の環境をきれいに保てるよう心がけています。
毎日のお仕事で
心がけていることはありますか？
森さん…私たちの仕事の目的は「何も起こらないこと」。ここで学ぶ生徒や学生の皆さんが毎日何を何事もなく「あたりまえ」に過ごせることがいちばんです。特に建物の管理では小さいものを含めると毎日必ず何かしらのトラブルがあるものですが、それを誰にも迷惑をかけないように裏方として最善を尽くすのが私たちの役割です。
腰前さん…清掃もそうですね。これだけたくさんの生徒さん、学生さんがいますから汚れるのは当然ですが、いかにきれいな環境を保ち、それを「あたりまえ」の状態にするかを常に心がけています。あまり表には出ない仕事ですが、それでも時々学生さんが「ありがとうございます」



す」って声をかけてくれることがあるんです。それはやっぱり嬉しいですね。

学園の環境を維持するために、
ここで毎日過ごす生徒・学生たちにも
できることはあるでしょうか。

森さん…もちろん一部の人のだけだとは思いますが、無理な使い方をして設備が壊れてしまうこともあります。私たちが修繕する前に誰かが怪我でもしてしまったら大変です。設備は大切に使うってほしいですね。

腰前さん…私もお願いしたいのは一般的なマナーです。ごみはごみ箱に捨てて、飲み物の容器は飲み残しを捨ててからごみ箱に入れるなど、学校ではない場所でもあたりまえのマナーです。最近は分別もしっかりしてくれる学生さんが大半ですが、ひとりひとりの心がけでもっと過ごしやすい学校になると思います。
森さん…ここは皆さんの学校です。大切に思ってもらいたいですね。

普段、私たちの見えないところで学園の環境を支えてくださっている白山ビルサービス株式会社の皆さん。お仕事をされているところに出会ったら、ちゃんと日々の感謝の気持ちをお伝えしたいものです。

オトのカタ

受験生を持つ 親としての心構え

星稜高等学校教諭 進路指導課長 中田茂夫



数年前から、少子化の影響で、大学は全入時代に入ったと言われてきました。しかしながら、センター試験の受験者数は毎年増加しており、人気のある大学には多くの人が集まりますので、なかなか簡単には入れないということになります。

ここで、人気のある大学とはどんな大学かということになりますが、そのキーワードは「経済状況の不透明感」と「女子の大学進学率の上昇」で、この2つのキーワードから大学に求められるものとは何かと考えると、「就職」ということになります。このような状況を受け、就職につながることを学べるか、就職に必要な資格が取れるかということが大学の人気を左右する一つの大きな要素になっています。

これが現在の大学選びの一つの切り口として、理解しておかなければならないことです。大学のレベルは高いに越したことはありませんが、その大学がある地域にいい就職口があれば、なかなかいい就職はできません。もっと具体的に言えば、都会の経済状況は多少改善してきて、就職状況が改善してきていると言われていますし、都会には大手の企業の本社が集中していることも忘れてはいけません。地元で支店があれば、将来的にはリターンもできるかもしれません。大学が就職するための手段であると考えらるなら、希望の大学の就職状況・就職支援がどうなっているのかしっかりと調べなければなりません。また、経済状況から都会の大学に進学させるのは厳しいとお考えの場合は、とりあえず、「4年間でかかる学費＋生活費」と「安定した企業に就職して4～5年働いた場合の給与総額」を天秤にかけてみてください。これが十分にバイすると考えられるのなら、大学選びの際に都会の大学を選択肢に入れてみるのもよいかもしれません。ただ、ここで注意しなければならぬことがあります。行きたい大学があっても頑

張って勉強している生徒なら何も言うことはありませんが、自分では大学に行きたいと思っていないとか、漠然と都会に行きたいと口では言っているけど、どの大学に行きたいかはっきりしておらず、勉強にも力が入っていないような生徒の場合は問題があります。現在、大学では中退者や不登校が問題となっており、モチベーションのない一人暮らしの学生はあつという間に引きこもり予備軍になってしまっています。

大学選びに関しては、このほかにも重要な切り口がいくつもありますが、基本的には生徒自身の希望が優先されるべきだと思います。子供の選択に間違いがないか確認することが、保護者の皆さんのできること、ということになります。今はインターネットの時代ですから、知りたい情報を収集するのはそれほど難しくありません。ただし、ネットに流れている掲示板など、誰が書き込んでいるのかわからない情報はあてにしないことです。基本的には志望している大学のホームページで就職状況などを確認し、わからないことがあればメールや電話などで問い合わせしてみるのがいい方法が最も確実です。その際の大学の対応の仕方もチェックできますから、聞きたいことは聞いてみるのがいいと思います。また、受験期の生徒がよく言う不満の一つに「親は何も分かってないから」といったような発言がありますが、17～18歳の子供に全てを任せてしまったら、逆に、全て保護者の方が仕切ってしまうと、いざ出願となった場合にトラブルを引き起こしかねません。親も子もそれぞれが人格を持った人間ですから、おたがいにコミュニケーションをとる努力をし、それぞれの言い分がそれなりに理解されることが必要だと思います。そういったコミュニケーションができるためにも、保護者の方々もある程度の情報を収集しておくことが大切だと思います。

Topics

星稜中学校・高等学校卒業生が
新司法試験に合格しました！



木村 秀さん

最高裁判所司法研修所 司法修習生
星稜中学校(平成7年卒)・
星稜高等学校(平成10年卒)出身

星稜中学校・高等学校を卒業後、金沢大学で法学を学び、大学卒業後に知的障害者を支援するNPO法人で働きながら旧司法試験に挑戦してきました。新司法試験では受験資格が法科大学院修了者と定められたため、創価大学法科大学院に入学し、さらに2年間学び、修了した今年、ようやく念願の司法試験の合格を果たしました。旧司法試験初受験から数えると通算で9回目の受験でした。

私が法曹を志したのは、星稜中学・高校での経験が大きく影響しています。中学1年生の時、担任の鶴来先生の現代社会の授業で憲法を初めて読み、深く感銘を受けた経験は今でも強く印象に残っています。高校で理系に進んだ私が3年生になって進路に悩んでいた時、担任の荒野先生が「自分が何になりたいかをよく考えなさい」というアドバイスをしてくださり、あらためて自分自身を見つめ直し、法学部に進む決意をしました。何度不合格になっても最後まであきらめない心も、中学・高校で身につけたものだと思っています。

これから法曹への道を本格的に歩み始めるにあたり、思い出すのは学園の建学の精神「誠実にして社会に役立つ人間の育成」の言葉です。社会的弱者の方の心に寄り添うことのできる人間性豊かな実力ある法曹になれるよう、これからも誠実に努力してゆきたいと思っています。

祝受賞

理事長をはじめ、学園関係者が、
教育、スポーツ、社会貢献等の分野において表彰を受けました。

私学審議会委員功労者表彰（文部科学大臣表彰）

10月21日



稲置 美弥子 理事長

私立学校審議会委員として功労が特に
顕著であったとして表彰されました。
現在、石川県私立学校審議会会長。

〔私立学校審議会とは〕

私立学校法第9条の規定による私立大学及び
私立高等専門学校以外の私立学校の設置等
及びこれらの学校を設置する法人の設立等
についての審議並びにこれらの学校に関する重
要事項について知事に対して建議する機関

生涯スポーツ功労者表彰（文部科学大臣表彰）

10月8日



谷村 昭雄 理事

地域におけるスポーツの健
全な普及及び発展に貢献
し、生涯スポーツの振興に
顕著な成果をあげたとして
表彰されました。
現在、金沢市野球協会会
長としても活躍。

金沢市文化活動賞

9月26日



河崎 護 教諭

（星稜高校サッカー部監督）

25年以上にわたる指導で
星稜高校サッカー部を強豪
に育て、プロ選手も多く生み
出すなど金沢市のスポーツ
の振興などに貢献したとし
て表彰されました。

第12回 北國あすなろ善行賞

10月23日

星稜さわやかパトロール隊

平成19年5月に自転車盗難被害の防
止を目的に星稜高校の防犯ボランティ
ア団体として発足。駐輪場で二重ロッ
クの徹底を呼び掛けるなど防犯意識
の向上に努め、金沢東署と連携して
JR金沢駅で防犯キャンペーンも展開し
ています。



税に関する高校生の作文

金沢税務署長賞

「社会問題と税」

星稜高等学校1年 伊藤 杏奈 さん

租税教育の一環として、全国から応募を募る
「税に関する高校生の作文」。

平成22年度、金沢税務署管内では約1300
編の応募があり、この多数の応募の中から3
名が選ばれる「金沢税務署長賞」を、星稜高
等学校1年生の伊藤杏奈さんが受賞しました。

行事スケジュール (1月～3月)

金沢星稜大学

1	11日(火)	授業再開
	14日(金)	休講
	15日(土)・16日(日)	大学入試センター試験
	22日(土)	英語toeic-b 統一成果テスト(1年次)
	23日(日)	一般入試A日程、AO入試
2	3日(木)～9日(水)	一斉試験期間
	10日(木)	基礎ゼミナールⅡ発表会 人間科学部卒業研究発表会
	10日(木)～15日(火)	学内合同企業説明会(13日)は実施なし
	27日(日)	一般入試B日程
	28日(月)～3月2日(水)	追再試験
3	9日(水)	卒業判定
	18日(金)	学位記授与式
	22日(火)	入学前学力試験
	25日(金)	スポーツ学科公募制推薦入試(後期日程)
	27日(日)	保護者懇談会

星稜女子短期大学

1	6日(木)～8日(土)	スキー研修
	11日(火)	後期授業再開
	14日(金)	補講日
2	3日(木)	補講日
	4日(金)～10日(木)	後期考查期間
	5日(土)	一般入試A日程、スカラシップ入試 (一般入学奨学生、専門・総合学科一般入学奨学生)
3	22日(火)・23日(水)	2年次追・再試験
	1日(火)・2日(水)	1年次追・再試験
	4日(金)	一般入試B日程
	8日(火)	卒業判定発表
	15日(火)	卒業証書・学位記授与式
	25日(金)	一般入試C日程

星稜高等学校

1	7日(金)	始業式
	11日(火)	センター直前演習
	13日(木)	センター試験受験者激励会
	31日(月)	3年最終登校日
2	1日(火)	一次入試
	6日(日)	一次入試合格発表
	15日(火)～17日(木)	2年Pコース スノーボード実習
	19日(土)	推薦専願合格者説明会
	28日(月)	卒業式予行
3	1日(火)	卒業式・1・2年自宅学習
	7日(月)～11日(金)	学年末試験
	14日(月)	追試
	15日(火)	新2年教科書販売
	16日(水)	新3年教科書販売
	18日(金)	終業式
	19日(土)	一次入試合格者入学説明会
	21日(月・祝)	二次入試
	22日(火)	二次入試合格発表・入学説明会

あとがき

各設置校で学園祭が盛大に行われ、いよいよ入学試験のシーズンとなりました。今回の親業コラムでは「受験生を持つ親としての心構え」を掲載しています。これから大学入試センター試験や一般入試等が実施されます。受験生が最大限の力を発揮できるよう、「星稜」も万全の体制を整えます。

金沢星稜大学 入学課 山下智将

星稜中学校

1	7日(金)	始業式
	21日(金)	英語検定
2	6日(日)	入学試験
	9日(水)	入試合格発表
	17日(木)	スキー教室(一里野)
	20日(日)	入学説明会
3	2日(水)～4日(金)	学年末試験
	10日(木)	卒業式予行
	11日(金)	卒業式
	18日(金)	終業式
	19日(土)～22日(火)	補習

星稜幼稚園

1	11日(火)	始業式
	14日(金)	21世紀美術館見学、保育参加
	15日(土)	同窓会
	18日(火)	とらいランド参観(年長)
	20日(木)	夢ステーション子育て教室
	25日(火)	とんと劇場
	27日(木)	夢ステーション子育て教室
	29日(土)	希望懇談会
2	2日(水)	交通安全教室
	3日(木)	豆まき会
	5日(土)	入園説明会
	7日(月)	避難訓練
	10日(木)	夢ステーション子育て教室
	14日(月)	保育参観(年中)
	16日(水)	保育参観(年少)
	19日(土)	親子工作教室(年長)
3	21日(月)	保育参加
	24日(木)	夢ステーション子育て教室
	3日(木)	ひなまつり会
	8日(火)	お別れ会、保育参加
	24日(木)	終業式、新学期用品販売日

星稜泉野幼稚園

1	11日(火)	始業式
	12日(水)	にこにこ参観
	14日(金)	21世紀美術館見学
	17日(月)	新年おたのしみ会
	18日(火)	とんと観劇
	19日(水)	年長ABC参観
	21日(金)	とんと観劇、未就園児オープンハウス
	25日(火)	交通安全教室
	26日(水)	にこにこ参観
	28日(金)	誕生会
	29日(土)	個人懇談会
2	31日(月)	年長とらいランド参観
	1日(火)	入園説明会
	3日(木)	豆まき会、未就園児オープンハウス
	5日(土)	個人懇談会
	18日(金)	誕生会・避難訓練
3	3日(木)	ひな祭り・誕生会
	4日(金)	お別れ参観
	9日(水)	年長組を送る会
	24日(木)	終業式



学校法人 稲置学園

金沢星稜大学

石川県金沢市御所町丑10-1
TEL 076-253-3924(代表)
<http://www.seiryu-u.ac.jp>

星稜女子短期大学

石川県金沢市御所町西1
TEL 076-253-5900(代表)
<http://www.seiryu.ac.jp>

星稜高等学校

石川県金沢市小坂町南206
TEL 076-252-2237(代表)
<http://www.seiryu-hs.jp>

星稜中学校

石川県金沢市小坂町南206
TEL 076-252-2237(代表)
<http://www.seiryo-hs.jp>

星稜幼稚園

石川県金沢市御所町東27
TEL 076-252-5057(代表)
<http://kinder.seiryu.jp/seiryu/>

星稜泉野幼稚園

石川県金沢市泉野町6-17-30
TEL 076-244-5636(代表)
<http://kinder.seiryu.jp/izumino/>